

西中学校だより

にしとべの丘

学校評価号

2024年3月8日

横浜市立西中学校



12～1月にかけて保護者の皆様と生徒の皆さんに、今年度の教育活動を振り返る【学校評価アンケート】に御協力いただきました。その結果をまとめましたので、お知らせいたします。

①② 学校評価 生徒・保護者アンケート結果									
A：よい+B:ほぼよい（保護者は、あてはまる+少しあてはまる）の割合									
共通取組 重点取組	項目	生徒（回答数160）				保護者（回答数105）			
		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計
1 生きては たらく知	自ら学習しようとする意欲	77%	96%	87%	86%	69%	82%	78%	76%
	学力の定着	83%	89%	83%	85%	60%	76%	81%	72%
	興味・関心を踏まえた学習指導	90%	100%	100%	97%	77%	85%	81%	81%
	ICTを効果的に活用した学習指導	100%	98%	100%	99%	71%	91%	78%	80%
	ICTを効果的に活用した学力の定着	95%	98%	98%	97%	69%	79%	69%	72%
2 豊かな心	自他を大切にしようとする姿勢	97%	100%	100%	99%	91%	97%	100%	96%
	行事・特別活動等で個性を伸ばしようとしている	85%	94%	89%	89%	89%	91%	92%	90%
3 健やかな 体・食育	心身の健康の大切さの理解	97%	94%	96%	96%	71%	85%	75%	77%
	心身の健康に必要な生活習慣が身に付いている	86%	77%	70%	78%	74%	65%	69%	69%
	食に関心をもち栄養について学ぶことができている	85%	98%	76%	86%	57%	74%	58%	63%
4 キャリア 教育	キャリア教育への取組	90%	91%	93%	91%	74%	74%	86%	78%
	将来についての展望	61%	87%	94%	81%	74%	50%	83%	69%
5 学校生活	決まりを守る姿勢・落ち着いた学校生活	93%	91%	100%	95%	91%	97%	94%	94%
	安心して過ごせる学校環境	97%	94%	100%	97%	80%	91%	94%	89%
	いじめに対する意識	98%	100%	100%	99%	77%	85%	94%	86%
6 地域連携	学校教育活動の発信	83%	85%	96%	88%	89%	88%	86%	88%
	西前小や地域との関わり	86%	83%	83%	84%	94%	88%	89%	90%
7 安全・防 災	防災訓練や地域連携	100%	96%	96%	97%	89%	79%	92%	87%
	身の回りの安全に対する意識	98%	100%	98%	99%	83%	85%	72%	80%

学校評価 生徒・保護者アンケートの考察

1. 生きてはたらく知

昨年度に全普通教室にプロジェクターとスクリーンを設置しました。今年も新たに特別教室2か所に設置し、さらにICTを利用した授業が充実できるような環境整備も進んでいます。ICT端末を利用した授業は、昨年度からどの授業でも活発に行われてきました。今年度は、さらにICTの利用を生徒の学力向上につながるように工夫しました。授業内容の配信や意見の集約、話し合い活動で活発に使い、生徒の知識定着だけでなく、表現力や思考力の向上につなげることができました。生徒のアンケート結果でもICT機器を利用した授業の評価はどの学年からも高評価につながりました。具体的には、「授業を配信することで、黒板では見えにくいところもしっかりと見ることができる」、「授業で使ったプリントを授業後に先生が送ってくれるので復習しやすい」など個に応じた支援にもつながっています。ICTを利用した学習に関しては、生徒と保護者の結果で開きがありました。保護者はどのようにICTを利用して、授業が行われているか見えにくいからだと考えました。この結果を改善していくためにも、保護者の理解が得られるように公開授業週間などでICT機器を利用している姿を多くの保護者に参観してもらえるように適切な期間を設定していきたいと思えます。また、授業の様子なども学校だよりなどで可能な限り、報告していきたいと考えています。

2. 豊かな心

今年度は学校の状況に合わせて予定通りに各行事を行うことができました。体育祭では、大縄や学年種目を中心にクラスや学年で一斉懸命に練習する姿がありました。また、文化祭では、本番に向けてクラス一丸となって合唱をつくり上げようと協力する姿がありました。このような姿が他者を思いやり、お互いを認める場面となりました。行事の後には、YPアセスメントや教育相談を行い、個人・クラスの振り返りをそれぞれの成長へつなげることができました。生徒からは、部活動に対する意見が多く、「部活動を通して心身共に成長することができた」や「後輩との関りから他者をより大切にできるように心がけた」などの意見があり、コロナ禍で制限されていた活動の大切さが、生徒の意見からも伝わってきました。生徒・保護者ともに全学年が約90パーセントとなり、生徒の心の成長や自尊心を高めることができたと思えます。来年度以降も学級活動や学校行事、特別活動や部活動が充実できるように家庭や地域の協力も得ながら進めていきたいと考えています。また、道徳教育の充実も図れるよう、生徒の実態に合わせた授業を工夫して行い、自他ともにさらに尊重できるよう努めていきます。

3. 健やかな体・食育

教科指導や保健だよりなどから健康の大切さを生徒は理解して生活することができました。食育に関しては、学校だよりの中にあるコラムやぱくぱく便りの配信、マリノスの食育講座、今年度から保健美化委員会と放送委員会による毎日の学校給食の紹介など様々なことから栄養について学ぶことができました。一方、生活習慣に関しては、学年が上がるごとに結果が下がる傾向となりました。3年生の生徒からは「塾や勉強の時間が増えて睡眠時間が少なくなってきた」など、学習に力を入れることによって睡眠不足や不規則な生活

につながっていることがアンケートから見えてきました。忙しい生活の中でも成長期の規則正しい生活の大切さを発信していき、よりよい生活習慣の定着を目指していきます。また、学校給食への意見は生徒・保護者ともにありました。学校給食への御意見は、教育委員会へ機会があるごとに伝えていきたいと考えています。

4. キャリア教育

併設型小中一貫校では、探求的学習を取り入れる「独自教科」を令和7年度から完全実施となっており、そのため、今年度は1・2年生の総合の時間の一部を利用し、自分づくりの一環として西区について考え、発表しました。その中で、地域の方や役所の方、企業の方とふれ合うことで将来のキャリアを考えるきっかけとなりました。生徒からは、「将来について考えることができた」「インタビューがよい経験になりました」などの意見があり、生徒一人ひとりが自分の特性や興味・関心が何にあるのかを考えるきっかけとなりました。保護者からの意見で、職場体験を再開してほしいなどのコロナ渦以前の2年生の取組に対する意見もありました。体験は独自教科の中で学校外の方との交流を充実させることで体験にしていきたいと考えています。1・2年生のアンケートに生徒と保護者の開きがあったので、保護者の方に独自教科で行われている内容を中心に発信し、理解が得られるよう努めていきたいと考えています。3年生の保護者からは、「進路説明が保護者・生徒両方にあり、わかりやすかった」などの意見があり、進路選択を計画的に進めることができました。来年度以降もキャリア学習を通して生徒が主体的に将来を考え、自分に合った進路選択を3年生でするようにキャリア学習を行っていきます。

5. 学校生活

いじめの対応に関しては、いじめ防止基本方針に沿って、月1回の情報交換、委員会への報告、生活委員会によるいじめ防止キャンペーンを行ってきました。4月に担任と教育相談を行い、さらに年間を通し、行事や長期休み明けの時期などに計画的にアンケートや教育相談を実施し、生徒理解に努めてきました。今年度から年度の終わりに、担任と面談し、1年間の生活を振り返ります。学校評価では、生徒・保護者ともにすべての項目で高く、特に生徒からは、どの項目も100パーセント近い高評価になりました。記述でも「学校が楽しい」「安心できる」などの意見が多く、学校が安心・安全な場所となっていることがわかります。今年度は、この学校が多くの生徒にとって楽しく・安全に過ごさせている場所となっていますが、いつ現状が変化するかはわからないので、日常から情報交換を職員内で密に行うようにし、全職員で共通理解のもと、生徒の心に寄り添い、丁寧に声かけをしていきます。

6. 地域連携

今年度は、ふれあい祭りが夏休みに4年ぶりに復活し、部活動の生徒を中心に参加することができました。地域・小学校と共に協力して行うことで、生徒が主体的に地域で活動する場となりました。また、10月の健民祭も同様に吹奏楽部や放送委員を中心に参加し、地域の一員として意識をもって参加することができました。学校運営協議会では、地域の方に西中学校の授業の様子や前期の活動の様子を伝えることができました。

小学校との連携では、教科・行事ともに充実させることができ、西前小学校6年生を中心に活発な交流となりました。学校評価アンケートからも、「小6との交流が来年度入学するにあたってとても安心できる取組です」などの意見が多くあり、中一ギャップの軽減につながっていることがわかります。授業では英語と数学を中心に中学校の職員が授業を行いました。部活動でも積極的な小中交流があり、陸上競技部が西前小学校の校庭で練習するときに、小学生の希望者も参加できるようにしました。このように、教科や部活動で年間を通して継続的な交流を充実させることができました。保護者・地域の方に中学校と小学校どちらの行事にも参加していただけるように、小学校と連携を密にして、日程の調整も行っていきたいと考えています。

7. 安全・防災

生徒のアンケート結果は全学年で100パーセント近い数字となりました。特に1年生が高く、意見でも多く見られた防災センター見学が防災意識の向上につながっていることがわかります。2・3年生も年間を通しての訓練を真剣に取り組み、消防署の方の講話などから自分自身の防災について振り返りかけとなりました。今後も引き続き、いつ起こるか分からない災害に向けて、訓練や学習を進めていく一方で、活動の様子などを学校便りや発信・共有し、家庭と連携しながら、安全意識を高めていけるよう心掛けていきます。

全体を通して

今年度のアンケート結果は全体的に生徒・保護者ともに高い結果となりました。特に生徒はどの重点取組分野でも90パーセントから100パーセント近い評価となり、学校生活全般的に充実した1年間となったことがわかりました。保護者のアンケート回答数は昨年度から大幅に増えました。御協力ありがとうございました。昨年度からの大きな変化としては、キャリア教育の「独自教科」です。コロナ渦以前とキャリア学習の取組方法が変わりました。来年度以降も保護者・地域の方にしっかりと変化した取組を伝えていけたらと考えています。また、コロナ渦以降に教育のICT化が加速度的に進み、授業の方法や、家庭・地域への情報発信方法も変化してきました。令和6年度からは、保護者へのお知らせ方法や欠席連絡が横浜市統一で「すぐーる」を利用することになりました。情報や利用準備は早めに保護者・地域の方にもお知らせしていきます。御対応よろしくお願いたします。

日頃より学校の教育活動に御理解・御協力してくださる保護者・地域の皆様に感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。